

はじめに

英米学科 広瀬 恵子

高等言語教育研究所が設立されて、本年度で4年目になります。本研究所の年報『ことばの世界』も4号を発行するはこびになりました。本号には、論文(9編)と実践報告(1編)とともに、本研究所の活動報告を掲載しました。

平成23年度、高等言語教育研究所は、以下の活動・事業を行いました。詳しくは、本号の活動報告をお読みください。

1 公開講演会の開催

本年度は、10月12日に南山短期大学名誉教授・近江アカデミー主宰の近江誠氏を迎え、「真の英語表現力を目指して～スーパー音読“オーラルインタープリテーション”～」と題した講演会を開催しました。

2 言語教育研究会の開催

年3回、主として本研究所員による言語教育研究、言語研究、言語教育等に関する研究会を開催し、研究発表とその後の質疑応答を通して、言語を超えた情報・意見交換を行いました。本年度は、非常勤講師の先生方から数多く発表していただきました。本号には、その論文を収録しています。

3 多言語競演レシテーション大会の開催

本学の外国語教育活動の一環として、学生の外国語学習の成果発表の場を提供しました。

4 外国語多読用図書の充実

昨年度図書館2階に設置された「外国語多読コーナー」(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、ポルトガル語、ロシア語、日本語の8ヶ国語)の多読用図書の蔵書を増やしました。

〈平成23年度購入 多読図書・自主学習支援図書〉

(長久手キャンパス図書館2階「外国語多読コーナー」配架又は高等言語教育研究所所蔵)

英 語	344 冊
フランス語	62 冊
スペイン語	68 冊
ド イ ツ 語	99 冊
中 国 語	30 冊
日 本 語	43 冊
ポルトガル語	13 冊
ロ シ ア 語	14 冊

5 英語・スペイン語多読活動の推進

図書館で実施している英語及びスペイン語の多読活動を、本年度も引き続き実施し、学生の多読活動をさらに推進しました。

6 CALL 教室を利用した外国語自主学習支援

CALL/ICT 部門が中心となり、CALL 教室を利用して、学生の外部語学試験 (TOEFL/TOEIC/IELTS) 受験のための自主学習支援を行いました。

7 外国語授業改善研修会の開催

言語別に(非常勤講師を含めた)外国語教育担当教員による授業内容・指導法の研修会を開催し、本学の外国語教育のさらなる充実と授業改善を図りました。

8 『ことばの世界』4号の発行

高等言語教育研究所の活動に関連して、本年度新たに、オープンキャンパスの外国語学部紹介の際に、参加した高校生を前に昨年度の多言語競演レシテーション大会の最優秀賞受賞者に実演をしてもらいました。昨年度は、一昨年度のレシテーション大会を録画したDVDの1部を上映しましたが、最優秀者による中国語とポルトガル語の生のパフォーマンスは、高校生に大好評だったと聞いています。このレシテーション大会の学外へのPR活動は、オープンキャンパス時のチラシ配布などを通して行ってきましたが、本年度は、観客の中に高校生の姿を見ることができました。レシテーション大会を録画・制作したDVDは、今後、高校生向けの広報にも活用できると思っています。

本年度は、高等言語教育研究所のウェブサイトを更新しました。活動やイベントについての情報については、研究所の URL (<http://www.for.aichi-pu.ac.jp/gengoken/>) をご覧ください。図書館「外国語多読コーナー」の蔵書リストや多言語競演レシテーション大会の最優秀賞受賞者によるレシテーションの動画もアップされています。

本号末には、本研究所のウェブサイトにある『ことばの世界』執筆要項を掲載しましたので、執筆希望の方は今後参考にしてください。

平成23年度 研究所会議構成員

研究所長	広瀬恵子
外国語学部長	大野 誠
教育研究審議会委員	堀 一郎
及び下記の 運営委員	

英語教育部門	宮浦国江
日本語教育部門	東 弘子
CALL/ICT 部門	大森裕實

担当及び運営会議構成員(運営委員)(五十音順)

所長代理・初習外国語教育部門	江澤照美
研究会・講演会	熊谷吉治
レシテーション大会	高阪香津美
レシテーション大会	月田尚美
広報・ホームページ	原 潮巳
『ことばの世界』編集	人見明宏